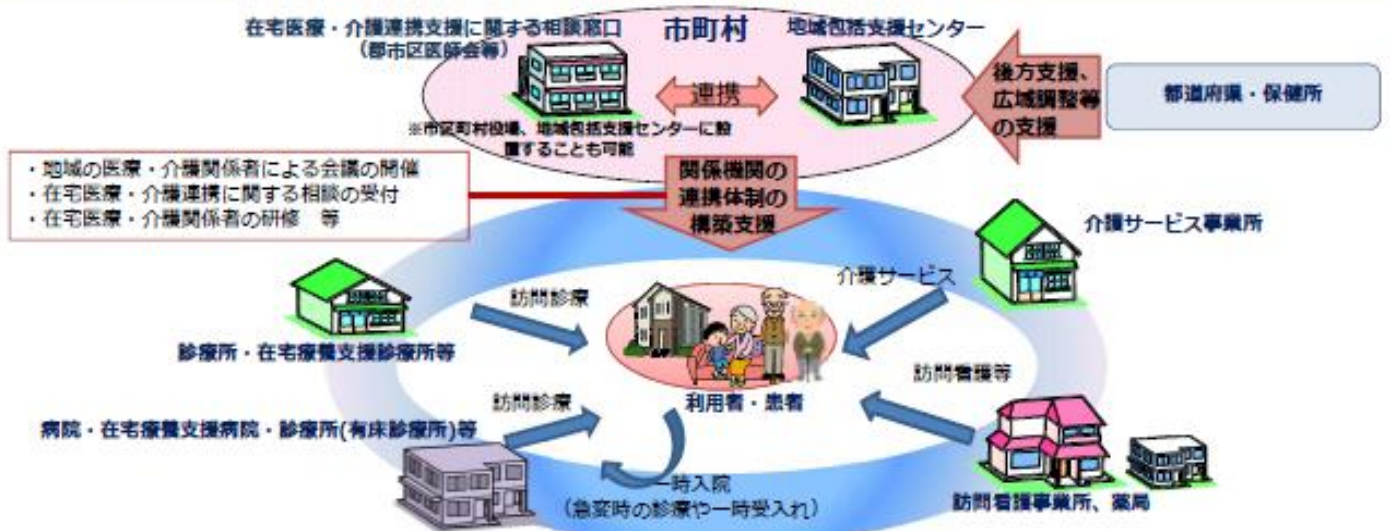


## 在宅医療・介護連携推進事業について

## 基本方針2 (1) 在宅医療・介護連携の推進

## 在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関（※）が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。  
 （※）在宅療養を支える関係機関の例
  - ・診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等（定期的な訪問診療等の実施）
  - ・病院・在宅療養支援病院・診療所（有床診療所）等（急変時の診療・一時的な入院の受入れの実施）
  - ・訪問看護事業所、薬局（医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等）
  - ・介護サービス事業所（入浴、排せつ、食事等の介護の実施）
- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。



介護だけでなく医療的な支援も必要な慢性疾患・認知症等の高齢者や、問題を抱えた方の退院支援、在宅療養を希望する方等が増加しているため、医師会や関係機関、近隣市町と協働して在宅医療・介護連携の推進に向けて事業を展開しています。

住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活を最後まで続けることが出来るよう、高齢者あんしん相談センターや東入間医師会館内の「地域医療・介護相談室」、医療や介護の関係者と連携しながら、入退院支援や日常の療養支援、急変時の対応、看取り等の様々な局面において、在宅医療と介護の提供ができる体制を進めています。

今後は、看取りに関する取組みや、認知症の方への対応力を強化していく観点からの取組みを進めていくことも重要であり、また、感染症や災害時対応等についても継続的なサービス提供を維持するため、関係者の連携体制や対応を検討していく必要があります。

## ① 医療・介護に関する相談支援

地域の医療や介護の情報・資源を把握し、適切な情報提供やサービス利用への支援を行い、東入間医師会など地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅で医療と介護が一体的に提供され、本人や家族が望む場所で最後まで過ごすことができるよう相談体制の強化を進めています。

H28年11月から東入間医師会館内に開設した「地域医療・介護相談室」と連携を図り、家族や医療・介護関係者の在宅医療や介護の相談支援に取り組んできました。

|         | 第7期計画 目標値 |      |      |
|---------|-----------|------|------|
|         | H30年度     | R元年度 | R2年度 |
| 相談件数    | 90        | 96   | 110  |
| (富士見市分) | 20        | 25   | 30   |

|         | 第7期計画 実績(見込)値 |      |      | 第8期計画 目標値 |      |      |
|---------|---------------|------|------|-----------|------|------|
|         | H30年度         | R元年度 | R2年度 | R3年度      | R4年度 | R5年度 |
| 相談件数    | 100           | 96   | 110  | 120       | 120  | 120  |
| (富士見市分) | 22            | 27   | 30   | 35        | 35   | 35   |

<現状> 地域医療・介護相談室では、在宅医療や介護に関する相談に看護師が対応しています。

【課題】 地域医療・介護相談室の相談者の全体での内訳は、本人家族からの相談が約5割を占めていますが、本市の内訳では本人家族からの相談は約3割にとどまっており、周知が十分でないことが考えられます。

## ② 医療関係者と介護関係者との連携

地域で暮らす高齢者の生活を支えるためには、介護保険サービスだけでなく保健・医療・福祉サービスや高齢者サロンなどのボランティア活動、NPO法人や民間の活動など、地域の様々な社会資源を結びつけていくことが重要です。郡市医師会を同じくする二市一町で、医療と介護連携会議や担当者会議、多職種研修会を開催しています。

●多職種研修会

|      | 第7期計画 目標値 |      |      |
|------|-----------|------|------|
|      | H30年度     | R元年度 | R2年度 |
| 開催回数 | 2         | 2    | 2    |
| 参加人数 | 260       | 270  | 280  |

|      | 第7期計画 実績（見込）値 |      |      | 第8期計画 目標値 |      |      |
|------|---------------|------|------|-----------|------|------|
|      | H30年度         | R元年度 | R2年度 | R3年度      | R4年度 | R5年度 |
| 開催回数 | 3             | 3    | 2    | 3         | 3    | 3    |
| 参加人数 | 378           | 423  | 200  | 300       | 350  | 350  |

●医療と介護連携会議（二市一町）

|      | 第7期計画 実績（見込）値 |      |      | 第8期計画 目標値 |      |      |
|------|---------------|------|------|-----------|------|------|
|      | H30年度         | R元年度 | R2年度 | R3年度      | R4年度 | R5年度 |
| 開催回数 | 3             | 3    | 3    | 3         | 3    | 3    |
| 参加人数 | 89            | 89   | 92   | 96        | 96   | 96   |

●二市一町担当者会議等

|      | 第7期計画 実績（見込）値 |      |      | 第8期計画 目標値 |      |      |
|------|---------------|------|------|-----------|------|------|
|      | H30年度         | R元年度 | R2年度 | R3年度      | R4年度 | R5年度 |
| 開催回数 | 12            | 7    | 7    | 7         | 7    | 7    |

＜現状＞ 東入間医師会や歯科医師会、薬剤師会、ケアマネジャー連絡会、二市一町の地域包括支援センター、関係機関等の多職種と二市一町の関係部署による「医療と介護連携会議」を定期的で開催しています。会議では、相互の業務についての理解・連携を促進するとともに、多職種研修会の開催などについても協議しています。また、多職種研修会は、より身近な地域の医療及び介護関係者の「顔の見える関係づくり」を更に深めることを目的に、会場を分けて実施しました。研修会参加者からは、相談がしやすくなったなどの意見が聞かれています。

【課題】 多職種研修会への参加者は増加傾向にありますが、利用者の生活面での関わりが多い介護職やリハ職の参加が少ない状況です。また、医療と介護双方の業務の理解は十分でないため、入退院時の情報提供の方法・切れ目のない支援体制の構築などに向けた取組みが必要となっています。

### ③ 在宅医療に関する普及啓発の取組み

医療や介護を必要とする高齢者が、その意向を尊重され適切に医療を利用し、住み慣れた地域で在宅生活を送れるよう、パンフレットやガイドブック等の多様な媒体による周知や、広報・ホームページの掲載等を通じ、地域の医療・介護の資源の情報提供や普及啓発を進めています。

<現状> 冊子「在宅医療と介護ガイドブック」を二市一町共同で作成しています。

**【課題】** 普及啓発はガイドブック等の紙媒体を中心に行っていますが、手元にないと確認できない、情報の更新が円滑にできないなどの不都合があるため、他の媒体の活用も検討が必要です。